

昭和59年版 医師国家試験問題注解

——付・例題——

医師国家試験問題注解

編集委員会編

第9分冊

皮膚科学



1985年3月19日

昭和59年版 医師国家試験問題注解

—付. 例題—

医師国家試験問題注解

編集委員会編

問題編

第9分冊

皮膚科学



金原出版株式会社

東京・大阪・京都



1985年5月19日

序

本書の昭和59年版を現役の医学生諸君と、医師国家試験を控えている卒業生諸君にお届けする。本書は今回より問題編と解答・注解編の2分冊とはなったが、合わせてみると何と重いことか、そして何と厚いことか。人は言う、まるで電話帳みたいではないか、と。悪口とも聞こえ、また、本書の意義を高く評価しているようにも響く。

頁を繰るだけで、何となく圧倒されたような気持ちになる。当然かもしれない。しかし諸君がこれまで読んだ臨床医学の参考書のすべてを積んでみたまえ。何と背の高いことか。本書は、それらの内容をまことに手際よくコンパクトにしたものと考えたらよいだろう。つまり、臨床医学のエッセンスを集約したのが本書であるといっても過言ではないのである。

医師国家試験は、臨床上必要な医学および公衆衛生に関して、医師として具有すべき知識および技能について、これを行う、ことになっている。だから基本的問題のみが出題されてよさそうに思われるが、実際はなかなかそうもいかないようである。いわゆる難問、奇問が少なくなっていることは近年のよい傾向ではあるが、やはり今でもひとひねりした問題がないとはいえない。大学の医学教育をきちんと受けていれば、自然に医師国家試験はパスできるはずであるが、実際はそうでもないところに問題がある。これまでの出題問題をよく検討しておくことはどうしても必要である。また、MCQ方式の問題を解答するには、ちょっとしたコツも必要なようである。こういったことを予じめ会得しておくのと、おかないのとでは天地雲泥の差である。医師国家試験を通過すれば医師になれるのに、不合格であったら、ただの人になることは、諸君が一番よく知っているはずである。だから、医科大学を卒業した以上は、どうしても医師国家試験に合格しなければならない。それがためには、医科大学における講義と実習をまじめに受けた上に、本書のような例題を中心にした実践的訓練をしておくことが重要なのである。

今、医師国家試験は曲り角にきている。厚生省の中に「医師国家試験制度改善委員会」ができて今大いに議論し、検討が行われている。やさしくして合格率を上げるのが目的ではなく、卒前教育を修了した時点で、これから指導医の下で診療に従事してよいか、どうかの資格を認定するための正しい試験になるようにするための作業が行われていると解してよいだろう。

本書には、医師国家試験のためという目的のあることは間違いないが、それとともに、臨床各科の学習のポイントが示されているとみてよい。必ずや諸君のこれからの勉強に役立つといってよいと思う。ぜひ座右において、臨床各科の補習書として役立てるように希望したい。それも、医師国家試験を目前にして利用するのではなく、休暇を利用してじっくり利用してみるというやり方をおすすめしたい。

本書の厚さと重さに圧倒されずに、slow でもよいから steady に、しかも休暇を利用して本書を利用されることを心から望みたい。

昭和58年5月

医師国家試験問題注解編集委員会

各科領域の問題を読まれる方へ

I. 皮膚科学

1) 問題はなるべく既出問題からえらび、それに委員会で作成した例題を加えて、全領域をカバーするように努めた。

2) 過去の例からみても、本書の例題、既出問題と非常によく似たものしか新しい問題としては出てこないで、安心して本書で勉強してよい。

3) 医師国家試験問題出題基準（厚生省刊）にしたがって並べてある。



皮膚科の発展と皮膚科の発展

皮膚科学

皮膚科



皮膚科

【問1】 表皮細胞の life cycle について正しい組合わせはどれか。

- (1) 正常表皮の細胞分裂は基底層でのみ起こる。
 - (2) 表皮細胞が分裂してから表層へ押し上げられ、剝離脱落するには14日間かかる。
 - (3) 粘膜での上皮細胞の life cycle は表皮のそれよりも短い。
 - (4) 乾癬では表皮細胞の life cycle は3～4日である。
 - (5) 基底細胞の分裂像は 正常<乾癬<癌 の順に多い。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (3), (4)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問2】 ヒト皮膚基底細胞層の1mm² 当たり色素細胞の数について誤っているのはどれか。

- a 色素細胞数は部位により差がある。
- b 紫外線の照射により色素細胞数は増加する。
- c 黒人の色素細胞数は白人よりも多い。
- d 尋常性白斑では白斑部位の色素細胞数は減少または欠如する。
- e 白皮症の皮膚の色素細胞数は健常人と同数存在する。

【問3】 メラニン生成と関係の深いものは次のうちどれか。

- (1) dopa (2) チロジナーゼ (3) Langerhans 細胞
 - (4) ケラトヒアリン顆粒 (5) MSH
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問4】 メラノファージについて正しい組合せはどれか。

- (1) メラニン色素の生産 (2) メラニン色素の破壊 (3) メラニン色素の貪食
 - (4) メラノサイトと同一 (5) メラノホーレンと同一 (6) 炎症後の二次性色素沈着
- a (1), (2) b (1), (3) c (1), (4) d (1), (5), (6) e (3), (6)

【問5】 温熱刺激によって発汗の増加する部位の組合わせはどれか。

- (1) 掌 趾 (2) 鼻 部 (3) 外陰部
 - (4) 前額部 (5) 背 部
- a (1), (2), (3) b (2), (3), (4) c (3), (4), (5)
d (2), (4), (5) e (1), (4), (5)

【問6】 次の毛髪について性ホルモンの支配をうける組合わせはどれか。

- (1) ウブ毛 (2) 鬍 毛 (3) 腋 毛
 - (4) 眉 毛 (5) ヒ ゲ
- a (1), (2), (3) b (2), (4), (5) c (3), (4), (5)
d (1), (3), (4) e (2), (3), (5)

【問7】 次のうち誤っているのはどれか。

- a 急性湿疹の特徴として漿液性丘疹がみられる。
- b 汎発性強皮症（PSS）では全身の皮膚が一様に硬い。
- c 扁平紅色苔癬の皮疹は多角形で特有の光沢がある。
- d 皮膚筋炎では上眼瞼の浮腫性紅斑が特徴の一つである。
- e ばら色乾癬疹では皮疹の長軸が皮膚割線方向に一致する傾向がある。

【問8】 露出部に好発する疾患の組合わせはどれか。

- (1) スポロトリクム症 (2) 単純性疱疹 (3) 尋常性乾癬
 - (4) 老人性角化症 (5) 白斑黒皮症
- a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (4), (5)
d (2), (3), (4) e (2), (3), (5)

【問9】 顔面に小丘疹が多発する疾患はどれか。

- (1) 青年性扁平疣瘡 (2) 石灰化上皮腫 (3) 多発性毛嚢腫
- (4) 肝斑 (5) 第2度酒皰

2 皮膚科一問題

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3) d (3), (4) e (4), (5)

【問 10】 片側性に好発する疾患の組合わせはどれか。

- (1) Sturge-Weber 症候群 (2) 帯状疱疹 (3) 汗管腫
(4) ばら色皰瘻疹 (5) Becker 母斑

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (2), (5)
d (2), (3), (4) e (2), (4), (5)

【問 11】 下肢に好発する疾患はどれか。

- (1) 結節性紅斑 (2) Schönlein-Henoch 紫斑病
(3) Bazin 硬結性紅斑 (4) うつ滞性皮膚炎 (stasis dermatitis)

- a (1), (3), (4) b (1), (2) c (2), (3)
d (4) e (1)~(4)のすべて

【問 12】 手掌に発生しない疾患はどれか。

- a 毛嚢炎 b 砒素角化症 c 白 癬
d 乾 癬 e 疣瘻い

【問 13】 次の疾患のなかで幼児に多いものはどれか。

- a 尋常性毛瘡 b 汗疱状白癬 c 頭部乳頭状皮膚炎
d 癩 風 e 手足口病

【問 14】 老人期にはほとんど認められない皮膚疾患はどれか。

- (1) 莓状血管腫 (2) 毛孔性苔癬 (3) 顔面単純性皰瘻疹
(4) 慢性湿疹 (5) Paget 病

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 15】 白人に比べて日本人に特にみられるのはどれか。

- (1) 眼上顎褐青色母斑 (2) 網状肢端色素沈着症 (3) 尋常性乾癬
(4) 静脈瘤性症候群 (5) 連環状 (正円形) 皰瘻疹

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 16】 好酸球増多を認めないものは次のうちどれか。

- a 尋常性天疱瘡 b 麻 疹 c 猩紅熱
d アトピー性皮膚炎 e Dühring 疱疹状皮膚炎

【問 17】 新生児の皮疹の滲出液中に好酸球がみられる場合、次のどの場合がもっとも多いか。

- a アレルギー性反応 b 炎症性変化 c 新生児中毒性紅斑
d 骨髓疾患 e 色素失調症

【問 18】 正しいものの組合わせはどれか。

- (1) 膿疱は続発疹である。
(2) 表皮の網状変性はウイルス性水疱にみられる。
(3) acanthosis は acanthosis nigricans にみられる。
(4) 基底層の液状変性は SLE、皮膚筋炎、扁平苔癬でみられる。

- a (1), (2), (3) b (1), (3) c (2), (4)
d (4)のみ e (1)~(4)のすべて

【問 19】 次の組合わせのうち誤っているのはどれか。

- a 湿 疹——海綿状態 (spongiosis)
b 色素性蕁麻疹——肥満細胞 (mast cell) 増加
c サルコイドーシス——乾酪化 (caseation necrosis)
d 全身性エリテマトーデス——基底細胞液状変性 (liquefaction degeneration)
e Darier 病——異常角化 (dyskeratosis)

【問 20】 表皮肥厚をきたす疾患の組合わせはどれか。

- (1) 乾 癬 (2) 神経皮膚炎 (3) 尋常性魚鱗癬
(4) 慢性円板状紅斑性狼瘡 (5) Bowen 病

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (2), (3), (4)

- d (2), (4), (5) e (3), (4), (5)

【問 21】 表皮内水疱の認められる疾患の組合わせはどれか。

- (1) 紅色汗疹 (2) 毛包性角化症
(3) 伝染性膿痂疹 (4) 急性接触性皮膚炎
(5) 毛孔性角化症

- a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (1), (3), (5)
d (3), (4), (5) e (5)以外のすべて

【問 22】 棘融解 (acantholysis) の認められる疾患の組合わせはどれか。

- (1) Darier 病 (2) 落葉性天疱瘡 (3) 水疱性類天疱瘡
(4) 表皮水疱症 (5) 単純性疱疹

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (2), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 23】 棘融解 (acantholysis) をきたすものは次のうちどれか。

- a 尋常性天疱瘡 b 水疱性類天疱瘡 c 接触皮膚炎
d 多型滲出性紅斑 e 先天性表皮水疱症

【問 24】 手背の紅斑で表皮基底層の液状変性と真皮の付属器周囲に斑状の小円形細胞浸潤のみられるものはどれか。

- a 多形（滲出性）紅斑 b 尋常性乾癬
c 全身性紅斑性狼瘡 d 扁平（紅色）苔癬
e 毛孔性紅色糠疹

【問 25】 皮膚描記症 (dermography) で、ヒスタミンまたはヒスタミン様物質により起こる変化の組合わせはどれか。

- (1) 蒼白化 (2) 紅斑 (3) 膨疹
(4) 紅暈 (5) 出血
a (1), (3) b (2), (4) c (1), (2) d (2), (3) e (3), (5)

【問 26】 Köbner 現象をきたす疾患は次のうちどれか。

- a 若年性扁平疣贅 b 伝染性膿痂疹 c 頑癬
d Behçet 病 e Bowen 病

【問 27】 Nikolsky 現象をみる疾患の正しい組合せはどれか。

- (1) Hailey-Hailey 病 (2) Lyell 病
(3) 重症熱傷 (4) Darier 病
(5) 乳児寄生菌性紅斑

- a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (1), (3), (5)
d (2), (3), (4) e (2), (4), (5)

【問 28】 次の組合せのうち正しいものはどれか。

- (1) アミロイドーシス——コンゴ赤試験
(2) 蕁麻疹——光田反応
(3) リウマチ性紅斑——ASLO
(4) サルコイドーシス——Kveim 反応

- a (1), (3), (4) b (1), (2) c (2), (3)
d (4) e (1)~(4)のすべて

【問 29】 次のうち体液性抗体に関係するのはどれか。

- a 他動性転嫁 (passive transfer) b ツベルクリン反応
c 芽細胞化 (blastoid formation) d 貼布試験 (patch test)
e 大食細胞遊走阻止 (macrophage migration inhibition)

【問 30】 アナフィラキシー・ショックの危険性をもっとも高い検査法は次のうちどれか。

- a 内服試験 b 貼布試験 c 皮内反応
d 乱切試験 d 粘膜反応

【問 31】 外用された薬剤の皮膚吸収について正しいのはどれか。

- (1) 毛嚢脂腺系より吸収される。 (2) 経汗腺性にはほとんど吸収されない。

4 皮膚科—問題

- (3) 経表皮性には吸収されない。 (4) 乳剤性基剤よりの吸収は油脂性基剤より少ない。
 (5) 密封包帯法を行うと吸収は促進される。
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
 d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 32】 副腎皮質ステロイドの外用が有効な疾患はどれか。

1. アトピー性皮膚炎 2. 貨幣状湿疹
 3. 伝染性軟属腫 (molluscum contagiosum) 4. 白 癬
 5. 尋常性乾癬 (psoriasis vulgaris)
 a 1, 2, 3 b 1, 2, 5 c 1, 4, 5
 d 2, 3, 4 e 3, 4, 5

【問 33】 グリセオフルビンについて正しい組合わせはどれか。

1. 白癬菌の胞子に有効。
 2. 白癬菌の増殖相に有効。
 3. 治療期間は個体の血清薬剤濃度に左右される。
 4. 治療期間は少なくとも3か月を要する。
 5. 治療期間は病変部位の角層更新期間で左右される。
 a 1, 3 b 1, 4 c 1, 5 d 2, 4 e 2, 5

【問 34】 次の組合わせのうち誤っているのはどれか。

- a 癩 風——サリチル酸アルコール
 b 基底細胞腫——5-fluorouracil (5FU)
 c スポロトリウム症——温熱療法
 d ばら色秕糠疹——紫外線照射
 e port-wine stain 型血管腫——放射線療法

【問 35】 次の組合わせのうち誤っているものはどれか。

- a 蕁麻疹——抗ヒスタミン薬
 b 全身性エリテマトーデス——副腎皮質ホルモン
 c 尋常性魚鱗癬——ビタミンA
 d 掌蹠膿疱症——抗真菌薬
 e 乾 癬——減脂肪食

【問 36】 DDS (diamino-diphenyl sulfone) の奏効する疾患はどれか。

- (1) 持久性隆起性紅斑 (2) ジューリング疱疹状皮膚炎 (3) 尋常性疣贅
 (4) 頑癬 (5) 癩
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (2), (5)
 d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 37】 光化学療法 (ソラレン誘導体投与+長波長紫外線照射) が用いられる皮膚疾患はどれか。

- (1) 尋常性白斑 (2) 皮膚結核症 (3) 掌蹠膿疱症
 (4) 尋常性乾癬
 a (1), (3), (4)のみ b (1), (2)のみ c (2), (3)のみ
 d (4)のみ e (1)~(4)のすべて

【問 38】 軟エックス線療法の禁忌はどれか。

- (1) 足白癬 (2) 単純性血管腫 (portwine stain) (3) 肝臓腫
 (4) 菌状息肉症 (5) 乳房外 Paget 病
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
 d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 39】 皮膚切開に際して局所麻酔薬にアドレナリンを添加する場合、禁忌とされるものの組合わせはどれか。

- (1) 被髪頭部 (2) 口唇部 (3) 指、趾 (4) 耳 (5) 老人
 a (1), (2), (5) b (1), (3), (4) c (2), (3), (4) d (2), (3), (5)
 e (3), (4), (5)

【問 40】 アレルギー性接触性皮膚炎について正しい組合わせはどれか。

- (1) 感作の成立には普通1週間を要する。 (2) 誘発試験には貼布反応を行う。

- (3) 貼布反応の判定は通常6時間後に行う。
 (4) 感作が始まってから成立するまでを不応期という。
 (5) 抗体として IgE が関与する。

a (1), (2) b (2), (3) c (1), (4) d (3), (5) e (1), (5)

【問41】成人のアトピー性皮膚炎について正しい組合わせはどれか。

- (1) 通常湿潤している。 (2) 通常乾燥している。
 (3) 苔癬化傾向が強い。 (4) 皮内テスト成績から脱感作療法が可能。
 (5) メコリルの皮内注射で蒼白化をみる。

a (1), (3), (4) b (1), (4), (5) c (1), (3), (5)
 d (2), (3), (5) e (3), (4), (5)

【問42】アトピー性皮膚炎について誤っているのはどれか。

- a 血縁者に蕁麻疹、喘息の罹患者が多い。
 b 乳幼児期に初発することは少ない。
 c 血清 IgG の上昇する例がある。
 d 白色皮膚描記症 (white dermographism) を示すことが多い。
 e 白内障を合併することがある。

【問43】アトピー型発疹のみられるものの組合わせはどれか。

- (1) Stevens-Johnson 症候群 (2) Wiscott-Aldrich 症候群
 (3) 晩発性皮膚ボルフィリン症 (4) フェニール・ケトン尿症 (5) Rendu-Osler 病

a (1), (2), (3) b (1), (3), (5) c (2), (3) d (2), (4) e (3), (5)

【問44】乳児の脂漏性皮膚炎について正しい組合わせはどれか。

- (1) 頭部、四肢の屈側に多い。 (2) 細菌感染により誘発される。
 (3) 生後1〜2か月で発症する。 (4) 小児乾燥型湿疹に移行する。
 (5) 掻痒はない。

a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (1), (4), (5)
 d (1), (3), (5) e (2), (4), (5)

【問45】Vidal 苔癬について正しいのはどれか。

- (1) 激しい痒みがある。 (2) Köbner 現象が陽性である。 (3) しばしば湿潤する。
 (4) 中年以後に多い。 (5) 項部、頸部に好発する。

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
 d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問46】乳頭部の湿疹を Paget 病と鑑別するために重要な所見の組合わせはどれか。

- (1) 皮疹が両側乳頭に存在する。 (2) 掻痒がある。
 (3) 同部に外傷の既往がある。 (4) 副腎皮質ホルモンの外用で消失する。
 (5) 下部に硬結をふれない。

a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (4), (5)
 d (2), (3), (4) e (2), (4), (5)

【問47】汗疱について正しい組合わせはどれか。

- (1) 汗管の閉塞によって起こる。 (2) 白癬菌の感染である。
 (3) 掌蹠の湿疹である。 (4) 水疱内容は無菌性。
 (5) 再発を起こしやすい。

a (1), (2), (5) b (1), (3), (4) c (1), (3), (5)
 d (2), (4), (5) e (3), (4), (5)

【問48】自家感作性皮膚炎の診断に役立つ検査法のうち正しい組合わせはどれか。

- (1) KOH 所見 (2) 細菌培養 (3) 生検病理所見
 (4) 血清IgE値 (5) 貼布反応

a (1), (2) b (1), (3) c (2), (4) d (3), (4) e (3), (5)

【問49】蕁麻疹について正しい組合わせはどれか。

- (1) 表皮 (2) 真皮 (3) 浮腫
 (4) 水疱 (5) ヒスタミン

6 皮膚科—問題

- a (1), (3), (4) b (1), (3), (5) c (2), (3), (4)
d (2), (3), (5)

【問50】じんま疹について正しいのはどれか。

- (1) 真皮に浮腫がみられる。 (2) すべてアレルギー機序に基づく。
(3) 小水疱を伴うことが多い。 (4) 個々の発疹は数日間持続する。
(5) 肥満細胞の脱顆粒がみられることが多い。

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3) d (3), (4) e (4), (5)

【問51】寒冷蕁麻疹について正しい組合わせはどれか。

- (1) 通常7°C以下に冷却すると起こる。 (2) 通常入浴後、発汗すると起こる。
(3) Raynaud現象を伴うものが多い。 (4) クリオグロブリン血症に関係することがある。
(5) 家族性に発生するものがある。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問52】色素性蕁麻疹にもっとも関係の深いものはどれか。

- a 好酸球 b 組織肥満細胞 c 食餌アレルギー
d 脱感作療法 e セロトニン

【問53】丘疹性蕁麻疹の発症に関係する因子として正しい組合わせはどれか。

- (1) 昆虫刺傷 (2) 肥満細胞の浸潤 (3) 温熱アレルギー
(4) 食餌性アレルギー (5) 成人より子供に多い

- a (1), (2) b (2), (3) c (2), (4) d (1), (5) e (2), (5)

【問54】環状を呈する紅斑の組合わせはどれか。

- (1) 多形紅斑 (2) 蕁麻疹 (3) 水疱性類天疱瘡
(4) 結節性紅斑 (5) 汗孔角化症

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問55】結節性紅斑のみられる疾患の組合わせはどれか。

- (1) Weber-Christian病 (2) Letterer-Siwe病 (3) Behçet病
(4) Hansen病 (5) Boeck-Schaumann病

- a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (2), (3), (4) d (2), (3), (5)
e (3), (4), (5)

【問56】下肢の炎症性硬結について誤っているものはどれか。

- a 結節性紅斑は慢性経過を示す。
b 硬結性紅斑はときに潰瘍化する。
c 血栓性静脈炎はベーチェット症候群に合併することが多い。
d 類脂肪性仮性壊死は下腿の前面に多い。
e Weber-Christian病は潰瘍化傾向がすくない。

【問57】次のうち誤っているのはどれか。

- a 全身性エリテマトーデスでは血小板数が減少する。
b アナフィラクトイド紫斑では出血時間が延長する。
c 尋常性乾癬の鱗屑をはがすと点状小出血が生ずる。
d Letterer-Siwe病の皮疹は紫斑と落屑を伴う小丘疹である。
e 毛細血管拡張性肉芽腫は易出血性である。

【問58】Schönlein-Henoch紫斑病と関係の深い組合わせはどれか。

- (1) 血管の先天性異常 (2) アレルギー性血管障害 (3) 硝子板圧抵法
(4) 皮膚描記症(画紋症) (5) 関節痛

- a (1), (2), (3) b (1), (3), (5) c (2), (3), (4)
d (2), (3), (5) e (3), (4), (5)

【問59】足の潰瘍について正しくないものはどれか。

- a うっ血性潰瘍は足関節顆部に始発する。
b 虚血性潰瘍は疼痛を伴わない。

- c 圧迫性潰瘍は意識障害者に多い。
- d 穿孔足は末梢神経障害に合併する。
- e 癌性潰瘍では潰瘍縁の隆起をみることが多い。

【問 60】 動静脈瘻を示す症状の正しい組合わせはどれか。

- (1) 虚血性潰瘍 (2) リンパ浮腫 (3) 発汗減少
- (4) 血管性母斑 (5) 静脈瘤
- a (1), (2), (5) b (1), (3), (4) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (5) e (2), (4), (5)

【問 61】 全身性エリテマトーデスについて正しいのはどれか。

- a 性差はない。
- b 皮膚症状は必発である。
- c 日光照射により悪化することが多い。
- d 妊娠時に軽快することが多い。
- e 中枢神経症状は予後に関係しない。

【問 62】 急性全身性エリテマトーデスの検査所見で正しい組合わせはどれか。

- (1) 抗核抗体陽性 (2) 白血球数増多 (3) 好酸球数増多
- (4) 白血球数減少 (5) 赤血球沈降速度の亢進
- a (1), (2), (3) b (1), (3), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (5) e (3), (4), (5)

【問 63】 慢性円板状紅斑性狼瘡の診断基準として必要なものの組合わせはどれか。

- (1) 顔面、手指の紅斑
- (2) 末梢血の貧血、白血球減少
- (3) 表皮基底層の液状変性、表皮付属器周囲のリンパ球浸潤
- (4) 表皮直下の帯状細胞浸潤
- (5) 毛孔性角栓
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (3), (4)
- d (1), (3), (5) e (1), (4), (5)

【問 64】 汎発性強皮症で特に多いものはどれか。

- 1. 蛋白尿 2. LE 現象陽性 3. Raynaud 現象
- 4. 食道下部の拡張 5. 筋の脱力症状
- a 1, 2 b 2, 3 c 3, 4 d 4, 5 e 上記 1～5 以外

【問 65】 汎発性硬皮症（進行性全身性硬化症）について正しい組合わせはどれか。

- (1) Raynaud 現象が初発症状であることが多い。
- (2) 爪廓毛細血管係蹄数が増加する。
- (3) 指趾末節の吸収と石灰化をみるが多い。
- (4) 顔面、上胸部に毛細血管拡張症をみる。
- (5) 色素脱失を伴うことはない。
- a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (1), (3), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 66】 皮膚筋炎について誤っているものは次のうちどれか。

- (1) 顔面、特に眼瞼の紫紅色腫脹が特徴的である。
- (2) 筋の無力感、自発痛、圧痛がある。
- (3) 内臓の悪性腫瘍と関係が深い。
- (4) 尿中クレアチン排泄が低下する。
- a (1), (2), (3) b (1), (3) c (2), (4) d (4) e (1)～(4)のすべて

【問 67】 Behçet 病の所見として正しいのはどれか。

- (1) 光線過敏症 (2) 尿中クレアチニン増加 (3) 結節性紅斑様皮疹
- (4) 皮膚の針反応 (5) 急性陰門潰瘍
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 68】 サルコイドーシスについて正しい組合わせはどれか。

- (1) 結節 (2) 潰瘍 (3) 類上皮細胞
- (4) Kveim 反応 (5) 悪性腫瘍合併
- a (1), (3), (4) b (1), (3), (5) c (2), (3), (5)

8 皮膚科一問題

d (2), (4), (5)

【問 69】 Melkersson-Rosenthal 症候群として正しい組合わせはどれか。

- (1) 顔面神経麻痺 (2) 三叉神経痛 (3) 皺裂舌
(4) 黒毛舌 (5) 口唇腫脹
a (1), (3), (5) b (1), (4), (5) c (1), (2), (5)
d (2), (3), (5) e (2), (4), (5)

【問 70】 日光照射によって誘発されるものは次のうちどれか。

- a 尋常性白斑 b Recklinghausen 病 c 伝染性軟属腫
d ペラグラ e Duhring 疱疹状皮膚炎

【問 71】 日光によって悪化する疾患はどれか。

- (1) 晩発性皮膚ボルフィリン症 (2) ペラグラ (3) 色素性乾皮症
(4) 色素性じんま疹 (5) 癩風
a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 72】 色素性乾皮症ともっとも関係の深い組合わせはどれか。

- (1) 光線過敏症 (2) ビタミン A (3) 男性ホルモン
(4) 悪性腫瘍 (5) 遺伝性疾患
a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (5) e (3), (4), (5)

【問 73】 色素性乾皮症ともっとも関係の深いものはどれか。

- (1) ボルフィリン代謝異常 (2) ニコチン酸代謝異常 (3) 常染色体優性遺伝
(4) DNA 修復異常 (5) 常染色体劣性遺伝
a (1), (2) b (2), (3) c (3), (4)
d (4), (5) e 上記(1)~(5)以外

【問 74】 遺伝性の顔面紅斑と光線過敏症、中枢神経系発育異常の合併する疾患の組合わせはどれか。

- (1) ataxia telangiectasia (2) Bloom 症候群 (3) Rothmund-Thomson 症候群
(4) 色素性乾皮症 (5) Cockayne 症候群
a (1), (2) b (1), (3) c (2), (3) d (2), (4) e (4), (5)

【問 75】 薬疹について誤っているものは次のうちどれか。

- (1) すべてアレルギー機序によって発症する。
(2) 固定薬疹においては紅斑が長期間持続する。
(3) 皮疹の性状から原因薬剤を推定できることが多い。
(4) いわゆるビリん疹はアスピリンにより起こることが多い。
a (1), (2), (3)のみ b (1), (3)のみ c (2), (4)のみ
d (4)のみ e (1)~(4)のすべて

【問 76】 薬剤と副作用との組合せのうち適当なのはどれか。

- (1) サルファ剤——皮膚粘膜眼症候群 (2) プレオマイシン——肺線維症
(3) サイアザイド系薬剤——光線性白斑黒皮症 (4) ベニシリン——じんま疹様皮疹
a (1), (3), (4)のみ b (1), (2)のみ c (2), (3)のみ
d (4)のみ e (1)~(4)のすべて

【問 77】 薬剤による副作用として誤っているのはどれか。

- a クロロキンは色素沈着、眼の調節障害のほか、不可逆性の網膜変化をきたすことがある。
b 経口避妊薬はカンジダ症、肝斑、痤瘡のほか、血栓症をきたすことがある。
c テトラサイクリンは光線過敏症、腎障害、歯の黄染のほか、歯ぎんの肥大をきたすことがある。
d INAH は紅斑性狼瘡のほか、ペラグラを誘発することがある。
e ブローム剤は頭痛、性格変化のほか痤瘡、増殖性皮膚病変をきたすことがある。

【問 78】 固定薬疹について正しい組合わせはどれか。

- (1) 特定の薬剤で起こる薬疹を意味する。 (2) 通常みられるのは丘疹、水疱である。
(3) 通常みられるのは紅斑、色素沈着である。 (4) サルファ剤で発疹することが多い。
(5) 誘発試験により病巣数がふえることがある。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (3), (5)
d (2), (4), (5) e (3), (4), (5)

【問 79】 全身性紅斑性狼瘡を誘発することのある薬剤の正しい組合わせはどれか。

- (1) サルファ剤 (2) グリセオフルビン (3) ジフェニルヒダントイン
(4) アスピリン (5) クロロキン
a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (2), (5)
d (2), (3), (5) e (3), (4), (5)

【問 80】 痤瘡を誘発する化合物の組合わせはどれか。

- (1) ポリクロル・ビフェニル (2) テトラサイクリン (3) INH
(4) コール・タール (5) クロロサイアザイド
a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (1), (3), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 81】 光線過敏症をきたしやすい薬剤の組合わせはどれか。

- (1) グリセオフルビン (2) クロルプロマジン (3) キシロカイン
(4) クロロサイアザイド (5) D. D. S. (diaminodiphenyl sulfone)
a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 82】 光線過敏症と特に関係のない薬剤ないし物質はどれか。

- a サルファ剤 b ボルフィリン体 c ソラレン (psoralen) 誘導体
d アミノピリン e クロールプロマジン

【問 83】 脱毛症を起こしうる薬剤の正しい組合わせはどれか。

- (1) タリウム (2) サイオユラシル (3) コルヒチン
(4) クロロキン (5) グリセオフルビン
a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (3), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 84】 長期副腎皮質ホルモンの外用による局所的副作用はどれか。

- (1) 毛細血管拡張 (2) 表皮角化 (3) 色素沈着
(4) 皮膚萎縮 (5) 痤瘡様発疹
a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 85】 外用剤の吸収による全身性副作用として誤っているものはどれか。

- a 硼酸軟膏で嘔吐, 下痢, 脳膜刺激症状をみることがある。
b 副腎皮質ホルモン軟膏で乳房肥大, 乳輪, 外陰部の色素沈着をみることがある。
c ヘキサクロロフェンにより, けいれんや麻痺をきたすことがある。
d サリチル酸軟膏により意識混濁, 呼吸障害をみることがある。
e 水銀軟膏により腎障害のほか, 脳障害をきたすことがある。

【問 86】 皮膚障害を起こしうるのはどれか。

- (1) 塩化ビニル・モノマー (2) ベリリウム
(3) 三酸化砒素 (4) ペンタクロルフェノール (PCP)
a (1), (3), (4)のみ b (1), (2)のみ c (2), (3)のみ
d (4)のみ e (1)~(4)のすべて

【問 87】 次のうち誤っているのはどれか。

- a 尋常性天疱瘡 (pemphigus vulgaris) は口腔内に水疱をみることが多い。
b 尋常性天疱瘡の水疱は破れて, びらん面を呈する傾向が強い。
c 紅斑性天疱瘡 (pemphigus erythematosus) では顔面にエリテマトーデスに類似の蝶形紅斑をみる。
d Duhring 疱疹状皮膚炎 (dermatitis herpetiformis) では紅斑上に小水疱が環状に配列する。
e 水疱性類天疱瘡 (bullous pemphigoid) は若年者に好発する。

【問 88】 尋常性天疱瘡の特徴を示す組合わせはどれか。

- (1) 表皮下水疱 (2) 棘融解 (acantholysis) (3) Köbner 現象

10 皮膚科—問題

(4) Nikolsky 現象

- a (1), (2) b (1), (3) c (1), (4) d (2), (3) e (2), (4)

【問 89】尋常性天疱瘡 (pemphigus vulgaris) の診断に有用なものはどれか。

- (1) 抗基底膜抗体 (BM 抗体) (2) Tzanck test
(3) 抗表皮細胞間抗体 (IC 抗体) (4) 棘融解 (acantholysis)
(5) ANF

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 90】尋常性天疱瘡が水疱性類天疱瘡と異なる点はどれか。

- (1) 弛緩性水疱である。 (2) 棘融解細胞がある。
(3) 血清中に抗表皮細胞間抗体がある。 (4) 副腎皮質ホルモンが奏効する。
(5) Nikolsky 現象陽性である。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (2), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 91】血中に自己抗体の証明されるのはどれか。

- (1) 先天性表皮水疱症 (2) 水疱性類天疱瘡 (3) Senear-Usher 症候群
(4) 種痘様水疱症 (5) 帯状疱疹

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3) d (3), (4) e (4), (5)

【問 92】四肢の水疱とてんかんをみる遺伝性疾患の組合わせはどれか。

- (1) 表皮水疱症 (2) scalded skin 症候群 (toxic epidermal necrolysis)
(3) Conradi 症候群 (4) 色素失調症
(5) Lesch-Nyhan 症候群

- a (1), (2) b (1), (3) c (1), (4) d (2), (3) e (2), (5)

【問 93】口角炎の原因について正しい組合わせはどれか。

- (1) リボフラビン欠乏症 (2) アトピー性皮膚炎 (3) カンジダ感染
(4) 義歯によるアレルギー (5) 単純性疱疹

- a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (1), (3), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 94】口腔内にしばしば粘膜疹がみられるのはどれか。

- (1) 水痘 (2) Duhring 疱疹状皮膚炎 (3) Riehl 黒皮症
(4) アトピー性皮膚炎 (5) Behçet 病

- a (1), (2) b (1), (5) c (3), (5) d (3), (4) e (4), (5)

【問 95】口唇、口腔粘膜および外陰部粘膜の広範な有痛性びらんをきたす可能性のもっとも高い疾患はどれか。

- a 単純性疱疹 b 尋常性天疱瘡 c カンジダ症
d 疱疹状皮膚炎 e 光沢苔癬

【問 96】掌蹠に角化症をきたす疾患の組合わせはどれか。

- (1) 毛孔性紅色疣贅疹 (2) 砒素性角化症 (3) Papillon-Lefèvre 症候群
(4) Peutz-Jeghers 症候群 (5) 手足口病

- a (1), (2), (3) b (2), (3), (4) c (2), (3), (5) d (2), (4), (5)

【問 97】乾癬について正しい組合わせはどれか。

- (1) 顔面には比較的少ない。 (2) 爪に点状陥凹をみることが多い。
(3) 類乾癬と相互に移行する。 (4) 高脂血症を伴う。
(5) Auspitz 現象がある。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (3), (5)
d (1), (4), (5) e (2), (4), (5)

【問 98】尋常性乾癬で特徴的なものはどれか。

- (1) 不全角化 (parakeratosis) (2) 膨疹
(3) 表皮 turn over の促進 (4) Auspitz 現象

- a (1), (3), (4) b (1), (2) c (2), (3)
d (4) e (1)~(4)のすべて

【問 99】 乾癬の特徴を示すものは次のうちどれか。

- (1) 不全角化 (2) Auspitz 現象 (3) Köbner 現象
 (4) 白色皮膚描記症 (5) ヨード過敏症
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
 d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 100】 尋常性乾癬の診断上、特異的な現象は次のうちどれか。

- a Auspitz 現象 b Herxheimer 現象 c Schwartzman 現象
 d Arthus 現象 e Nikolsky 現象

【問 101】 乾癬性紅皮症について正しい組合わせはどれか。

- (1) 痒疹が著明である。 (2) リンパ節腫大を伴うことは少ない。
 (3) 生検標本で特徴的な Munro 微小膿瘍をみる。 (4) Nikolsky 現象がある。
 (5) 色素沈着はむしろ少ない。
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (3), (4)
 d (2), (3), (4) e (2), (3), (5)

【問 102】 強い痒疹を伴う苔癬の組合わせはどれか。

- (1) 毛孔性苔癬 (2) アミロイド苔癬 (3) 線状苔癬
 (4) 紅色苔癬 (5) 蕁麻疹様苔癬
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (3), (5)
 d (2), (4), (5) e (3), (4), (5)

【問 103】 発赤を伴う秕糠疹の組合わせはどれか。

- (1) 頭部秕糠疹 (2) 正円形秕糠疹 (3) 毛孔性紅色秕糠疹
 (4) ばら色秕糠疹 (5) 急性苔癬状秕糠疹
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (2), (3), (4)
 d (2), (4), (5) e (3), (4), (5)

【問 104】 弾力線維性仮性黄色腫について正しい組合わせはどれか。

- (1) しばしば高脂血症を伴う。 (2) しばしば高血圧症を伴う。
 (3) 弾力線維の断裂、消失がある。 (4) 弾力線維の変性、石灰化をみる。
 (5) 眼底、冠状動脈にも病変がある。
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (2), (5)
 d (2), (3), (5) e (2), (4), (5)

【問 105】 弾力線維性仮性黄色腫について関係の深いものは次のうちどれか。

1. 遺伝性疾患 2. 糖尿病 3. 高脂血症
 4. 酸性ムコ多糖類 5. 網膜色素線条
 a 1, 2 b 1, 5 c 2, 3 d 3, 4 e 4, 5

【問 106】 Ehlers-Danlos 症候群で特徴的なものはどれか。

- (1) 易出血性 (2) 網膜色素線条 (angioid streaks)
 (3) コラーゲン代謝異常 (4) 皮膚の過伸展性
 a (1), (3), (4)のみ b (1), (2)のみ c (2), (3)のみ
 d (4)のみ e (1)~(4)のすべて

【問 107】 若年性黄色肉芽腫について正しい組合わせはどれか。

- (1) 通常思春期に発症する。 (2) Fredrickson I 型高脂血症を伴う。
 (3) 自然に退縮する傾向が強い。 (4) 粘膜、紅彩にも発生することがある。
 (5) Touton 巨細胞をみる。
 a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (3), (4)
 d (2), (4), (5) e (3), (4), (5)

【問 108】 Werner 症候群として正しい組合わせはどれか。

- (1) 劣性遺伝。 (2) 生後 2 年以内に発症する。
 (3) 硬皮症様の皮膚変化を示す。 (4) 白内障と糖尿病の合併が多い。
 (5) 露出部の皮膚萎縮と毛細血管拡張症がある。
 a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (2), (3), (4)

- d (2), (3), (5) e (3), (4), (5)

【問 109】 次の組合せのうち誤っているのはどれか。

- a CRST 症候群——軟部石灰沈着
b Bourneville-Pringle 母斑症——periungual fibroma (Koene's tumor)
c 壊疽性膿皮症——潰瘍性大腸炎
d 脛骨前限局性粘液水腫——甲状腺機能低下症
e 菌状息肉症——Tリンパ球性細網症

【問 110】 晩発性皮膚ポルフィリン症について正しい組合わせはどれか。

- (1) 顔面、手背の露光部に水疱を発生する。
(2) 40歳を過ぎてから発症するものが多い。
(3) バルビタール、サルファ剤で増悪する。
(4) 尿中 uroporphyrin III, coproporphyrin III の増加がある。
(5) 尿中 porphobilinogen が増加する。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (2), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 111】 骨髄性プロトポルフィリン症 (erythropoietic protoporphyria) と症候性晩発性皮膚ポルフィリン症 (symptomatic porphyria cutanea tarda) とを鑑別するに必要な条件の組合わせはどれか。

- (1) 色素沈着、多毛症 (2) 露出部の水疱形成 (3) 肝機能検査
(4) 尿中ボルホビリノーゲン (5) 赤血球プロトポルフィリン
a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (1), (3), (5)
d (2), (3), (4) e (2), (4), (5)

【問 112】 次の文のうち正しい組合わせはどれか。

- (1) 黒子 lentigo ではメラノサイト数の増加がみられる。
(2) 雀卵斑ではメラノサイト数の増加がみられる。
(3) 尋常性白斑ではメラノサイト数の減少がある。
(4) 白皮症 (白子) ではメラノサイト数に変化はない。
(5) 炎症後の二次性色素沈着ではメラノサイト数の増加がある。

- a (1), (2), (3) b (1), (3), (4) c (1), (3), (5)
d (2), (3), (4) e (2), (4), (5)

【問 113】 先天的に色素沈着をきたす疾患の組合わせはどれか。

- (1) 色素失調症 (2) フェニール・ケトン尿症 (3) 先天性角化異常症
(4) Albright 症候群 (5) Chediak-Higashi 症候群
a (1), (2), (3) b (1), (2), (4) c (1), (3), (4)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 114】 遺伝性疾患でないものは次のうちどれか。

- a 雀卵斑 b Darier 病 c 扁平苔癬
d 色素性乾皮症 e 尋常性魚鱗瘡

【問 115】 色素沈着をみる疾患についての組合わせのうち正しいのはどれか。

- a Schamberg 病——メラニンの真皮深層への沈着
b 青色母斑——表皮メラニンの増加
c 色素失調症 (Bloch-Sulzberger 症候群)——メラニンの真皮への滴落
d Addison 病——真皮メラノサイトの増加
e 銀皮症——ヘモジデリンの沈着

【問 116】 白斑黒皮症の診断確定のための検査としてもっとも必要なものはどれか。

- a 皮膚生検 b 肝機能検査
c 副腎機能検査 d 貼布試験
e 光線照射試験

【問 117】 次のアザ (痣) のうち、自然消退傾向の著しいものはどれか。

- (1) 脂腺母斑 (2) 太田母斑
(3) 扁平母斑 (4) 蒙古人斑 (mongolian spot)